

## 研究・活動報告書

### 第一章 事業者に対するアンケート調査結果

#### 1. アンケート調査概要

対象：県内の（乗合・観光）バス事業者 65 社

期間：6月-7月

回答：21 社

#### 2. アンケートの設問と結果の概要

##### 1) 避難訓練や案内誘導訓練を実施したことがありますか。

回答	件数	割合
ある	14	66.7%
ない	7	33.3%

##### 2) 訓練に障がい者や高齢者等の当事者が参加されたことがありますか。

回答	件数	割合
ある	4	19.0%
ない	15	71.4%

##### 3) 訓練への当事者参加は必要だと思いますか。

回答	件数	割合
とてもそう思う	5	23.8%
そう思う	13	61.9%
どちらでもない	2	9.5%
あまりそう思わない	0	0
まったくそう思わない	0	0

※回答なし1件

##### 4) 平時において、障がい者や高齢者等の移動に制約がある方々を乗降させる誘導や案内訓練を実施したことがありますか。

回答	件数	割合
ある	7	33.3%
ない	14	66.7%

## 第二章 実証実験

### 1. 実施方針

- 本実証実験は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団の「2019年度 ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成」を受けて、「災害時バス車内における障がい者・高齢者の避難対応に関する実証研究」の一環として行うものである。
- 実施にあたっては、沖縄県総合事務局運輸部企画室、株式会社そら観光、おきなわスポーツイノベーション協会、バリアフリーネットワーク会議が連携して行うものとする。
- 本実証実験は、緊急時の対応の検証のみならず、避難訓練を伴い、障がい者に対する緊急時の具体的な支援技術の向上はもとより、もってバス事業者の防災力を総合的に高めるための一助となることを目指す。

### 2. 実施概要

- 1) 日時 : 令和元年10月5日(土曜日) 9:00-  
2時間45分程度(内実験は1時間45分程度)
- 2) 場所 : コザ運動公園 陸上競技場横 駐車場
- 3) 想定災害: 事故による火災
- 4) 参加当事者: 肢体不自由者(2名)、視覚障害者(1名)、聴覚障害者(3名)、高齢者(1名)
- 5) 主催: NPO 法人バリアフリーネットワーク会議
- 6) 共催: おきなわスポーツイノベーション協会株式会社

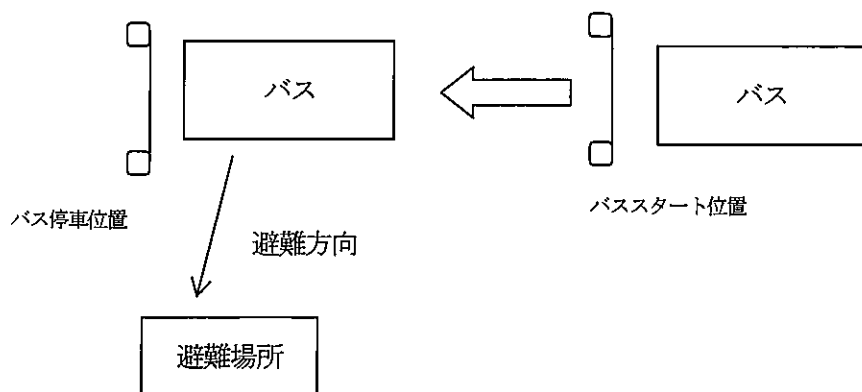
### 3. 実証実験の内容

- バス運行中の事故による火災を想定し、緊急停車、乗車している障がい当事者等の安全な場所までの避難を実施
- 障がいの種類ごとに、配慮事項を確認しながら円滑な誘導を実施
- 実験は、乗合バス(車いす席を含む定員17名)と観光バス(車いす席を含む定員39名)の2つに分けて実施

### 4. 実験の実施

- 1) プレ実験  
内容: 観光バスより当事者の避難手順の確認  
被験者: 運転手1名、当事者6名、協力者4名
- 2) 観光バス1回目実験  
内容: 満車時の健常者のみの比較実験  
被験者: 運転手1名、健常者37名
- 3) 観光バス2回目実験  
内容: 満車時の健常者および当事者の避難の実験  
被験者: 運転手1名、当事者6名、協力者4名、健常者29名
- 4) 乗合バス1回目実験  
内容: 健常者および当事者の避難の実験  
被験者: 運転手1名、当事者4名、協力者3名、健常者10名
- 5) 乗合バス2回目実験  
内容: 健常者および当事者の避難の実験  
被験者: 運転手1名、当事者4名、健常者3名

## 5. 実験配置図



## 6. 実験の計測結果

### 1) 結果一覧

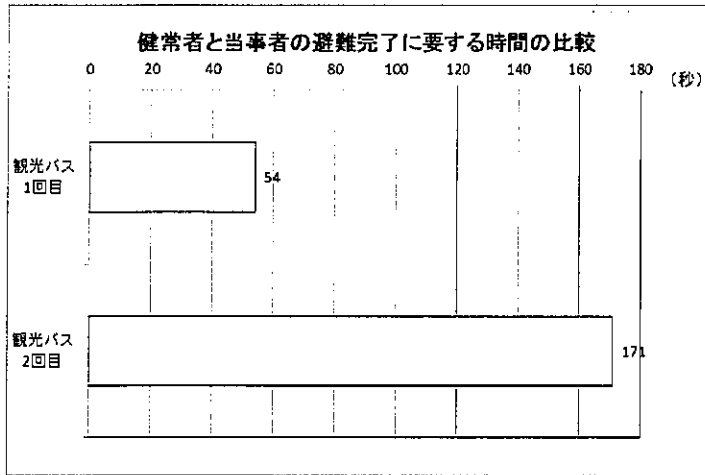
	プレ実験	観光バス 1回目	観光バス 2回目	乗合バス 1回目	乗合バス 2回目
避難開始 (避難のアナウンス)	0	0	0	0	0
最初の避難者	42秒	16秒	8秒	12秒	15秒
視覚A	42秒		31秒	12秒	15秒
聴覚A	53秒		34秒	13秒	
聴覚B	42秒		1分15秒		34秒
聴覚C					50秒
肢体A	2分49秒		2分44秒	50秒	
肢体B	2分53秒		2分51秒		1分41秒
高齢	53秒		1分12秒	32秒	1分5秒
最終避難者	2分51秒	54秒	2分53秒	50秒	1分41秒

## 7. 実験の検証

### 1) 避難時間に関して健常者と当事者にはどの程度の差があるのか

#### 健常者と当事者の最終避難の比較

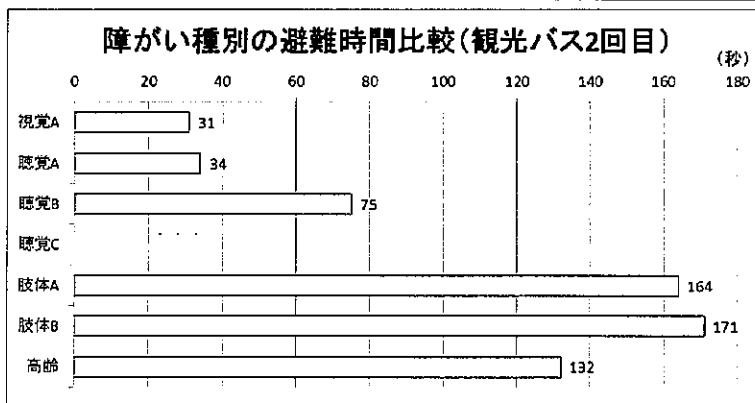
➡健常者に比べ当事者の避難完了には、約 3.2 倍の時間を要することが明らかになった。



### 2) 障がい種別によりどの程度の時間差があるのか

#### 障がい種別の避難時間比較

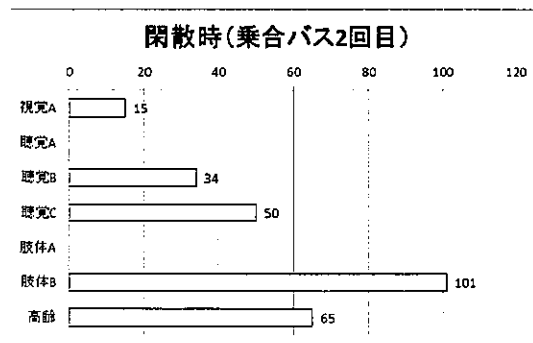
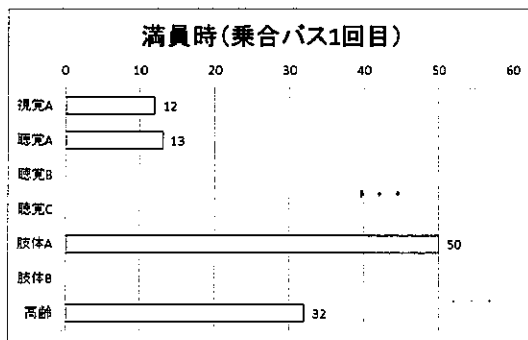
➡肢体不自由者が避難に最も時間がかかることが明らかとなった。



### 3) 満員時と閑散時では、当事者の避難にどの程度の時間差があるのか

#### 乗合バスの比較

➡閑散時の方が満員時より、避難の協力が得られないということで、避難完了までに 2 倍程度の時間差があることが明らかになった。



8. 実証実験の様子

